

これからの地域農業を支える 若い農業者たち

農業青年クラブ

市内の穎娃、知覧、川辺地域にそれぞれ農業青年クラブがあり、さまざまな交流をとおして、農業青年として親睦を深め、知識・技術の向上、地域農業・社会の発展に努めています。今回は各団体の活動内容など紹介します。



知覧町4Hクラブ（知覧地域）



小京都ふるさと祭での出店



つながり

仲間との交流
市民との交流

KEファーマーズ（穎娃地域）

花いっぱい運動



川辺町青年農業者の会（川辺地域） かわなべ磨崖仏まつりでの出店



今年販売された塩豚丼



KEファーマーズは、毎年、「花いっぱい運動」と称し、地元にも多くの花が咲きほころぶよう地区公民館や保育園などで、花植えの活動を行ったり、お茶の淹れ方教室の開催のほか、若い他の団体とも交流を深めようと、毎年えいのゴッソイまつりの「牛のゴッソイ焼き」にも参加しています。また、県青年クラブ消費者交流事業の産直市では、地元のお茶、サツマイモ、野菜などの販売も行っています。一昨年には3種類のお茶の商品開発も手がけました。



若い女性をターゲットに商品開発された3種類のお茶

急須で入れるリーフ茶離れが進む中、なかでも若者が特に飲まなくなっているため、若い女性が手に取り、飲んでもらえるお茶をつくりました。きっかけは、お茶の淹れ方教室などで若い受講者の方から、「お茶の中身の違いがわかりにくい」、「パッケージがどれもいまひとつ」といった意見を聞いて、若い女性にお茶の魅力を伝えるため、品質にこだわることはもちろん、パッケージやネーミングに工夫を凝らしたものです。



イオン鹿児島での産直市



お茶の淹れ方教室

良い刺激になる

入会している先輩から、「良い勉強になる」と勧められて入りました。会員の方はもともと知っている方が多かったので、すぐに会の活動に入り込みました。

会は県の4日にも加入しており、多くの行事に参加します。そのため多くの方と話す機会が増えて大変良い刺激になります。入った頃は先輩からよく農作業のことについてアドバイスをもらいましたが、最近では私が会に入ってくる新規会員へアドバイスできるようになってきました。また、今年は会で商品開発し

たお茶の売れ行きが良くても量が追いつかないくらいでした。同じ味の商品を作るのは難しいですが、出来上がったときはとてもうれしいです。

現在、私たちの会は茶業を営んでいる会員が多いですが、他の作物を作っている方も多く入会していただいて、いろんな面で語り合えたらと考えています。



KEファーマーズ
会長 下窪 康介 さん

おじいさんの代から製茶業を営む3代目。高校卒業後、料理の道に進みましたが、実家の茶業を継いだらとまわりから勧められ就農。2年経過した頃から多くの茶業工程に関わるにつれおもしろくなってきたそうです。父の教えは「自分でやってみろ」ということで、始めの頃は全てがうまくいくというものではなく、今でも整枝や肥料のやり方を試行錯誤しながらやっているそうです。「これから30年茶業を続けても1番茶を摘むのは30回しかないと思うと、1回、1回を大事にしていけないといけないと思ってやっている」とお茶への熱い思いを話してくれました。

知覧町4Hクラブは、毎年、小京都ふるさと祭での出店や市道（郡南線）緑地帯の草払い作業など行っています。また、昨年は地元茶葉とサツマイモを使って、緑茶ティーバッグとお菓子の新商品の開発に取り組みました。

新商品の茶葉選定



『ASATSUYU』は地元の茶葉（品種：あさつゆ）のみ使用し、若い女性向けに仕上げました。お芋のパイの『あいもこいも』はサツマイモ知覧紅を使い、かくし味にリンゴを入れたものとなりました。商品開発には会員、製造関係者らが6回の検討委員会で原材料やパッケージなどひとつひとつこだわって作っていました。



マルヤガーデンズでの農産物フェア

保育園児との芋植え交流

知覧町4Hクラブ会員

氏名	自治会名
塗木桂一郎	塗木
大隣 直人	大隣
大隣 尚平	大隣
松村 祥太	松村
菊永 貴治	菊永
西野 裕平	堤之原
菊永慎一郎	菊永
前原 充寿	大隣
宮原 健	後岳南
市坪 裕昭	新町
東垂水一守	東垂水
寺園 真人	佐々良下
町田 美高	加治佐
中渡瀬拓也	中渡瀬
村永 貴之	後岳下
東垂水良平	東垂水
西垂水慎一	西垂水
川床 直樹	新町
前原 一誠	大隣
古屋 博章	瀬世下
村園 和也	後岳南
西野 健太	中橋良
大坪 正勝	打越
川原 慶也	瀬世下



知覧町4Hクラブ
会長 塗木 桂一郎 さん

小さい頃から家業のお茶を継ぐだろうと思っていたそうです。農業を行うにあたり、大学を卒業後、日置市の県立農業大学で本格的に農業を学びました。お茶の仕事が好きと話す桂一郎さん、農業のやりがいについて聞いてみると「お茶は管理作業や加工作業があり、難しいけど技術があるので向上心が湧きます。お茶が良くてきたときはそれなりの評価をもらえ、自分の努力が反映されるからおもしろいです。また、問屋さんから良いお茶だと言われるとうれしい」と話してくれました。今後は販売にも少しずつ力を入れていくそうです。

クラブ活動もですが、たまに仲間が集う場ができて、世間話から情報交換までできて、このクラブはそういうところが大きいと思います。昨年はクラブで商品開発のプロジェクトを組んで何か作ろうと前会長の松村さんを中心に行いました。お菓子づくりは会員全員でミーティング

就農して2年目に4Hクラブに入りました。知り合いの先輩が「入れば楽しいよ」と誘ってくれて。私の最初の活動は小京都ふるさと祭での『からいもち』を作ることでした。とても楽しく作ることができました。

また、会員で行く研修は大変楽しいです。今年から会長になりましたが、会員が楽しくやっています。のが一番大事だと思っています。

グを何回も行い大変でしたが、ある意味良い活動ができたのではないかと思います。



川辺町青年農業者の会は、毎年、かわなべ磨屋仏まつりに出店するほか、昨年は農業体験を通して独身の男女が交流を深めようと「かわなべ農meetsプロジェクト」として婚活イベントの『恋の大収穫祭』を行いました。

川辺町青年農業者の会会員

氏 名	自治会名
山下信一郎	上の後
川崎 大輔	片 平
大藺 俊平	佐々良上
三好 海広	川 原
西 健治	宮小路
宮地 達哉	南野元
有木 祐也	永田中福良
内門 勝博	塩 入
大倉野 慎	諏 訪
大渡 和敬	高田下
大渡 幸樹	高田下
大渡 康弘	高田下
角 新一郎	藤の下
桑水流純昭	桑水流
才田 力	野間大久保
酒瀬川 保	小河路
末永 明人	上山田中福良
鮫島 正一	古殿上
藺田 洋資	下 里
内匠 剛	高田下
月野 貴大	南野元
鶴田 陽一	原 田
橋口 広	越 原
東 晃	今 村
東 耕太	本別府大久保
東 功躍	本別府大久保
松藺正一郎	上山田中福良



かわなべ農 meets プロジェクト



『恋の大収穫祭』 ～農業男子が待ってます～

- ・農に出会う (meets)
- ・濃密な時間を過ごす (農 meets → のう みーつ → 濃密)



▼ タンクの絵は山下さんがカラー
スプレーで描いたそうです。



川辺町青年農業者の会
会長 山下 信一郎 さん

子どものころから土いじりが好きで、夏休みに祖父母のいる川辺町に帰省した際、毎日のように農作業をしているおじいさんの横でどろんこ遊びをしていたそうです。そのような経験からか将来、土を扱う農業を行なってみたいと中学生の頃から思うようになったそうです。父母はすでに父の定年退職後、故郷川辺町に帰ってきており、信一郎さんも移住、平成 18 年 8 月から農業公社の研修生としてクルクマなどの生育技術を学び始めました。就農してから 6 年目になりますが、クルクマの栽培・収穫時期以外にはユリ、レタス、ブロッコリーも作っています。「経営は厳しいですが、これからも努力してより良い農作物を作って、収益を上げていきたいです。農業の魅力は作物を土に植えるときのわくわく感と収穫した時の達成感です」と話してくれました。



会員の方と知りあえて

農業公社での農業研修中から「川辺町青年農業者の会」に入会しました。こちらで育っていないので、友だち、知人もいない中、入会したことで会員の方と知り合いになり、いざ自分でクルクマを作り始めたとき、会員から堆肥をわけてもらったり、機械などを貸していただいたりしてとても助かりました。

また、1 年目のクルクマの収穫後、何をしようかと考えていたとき、畜産をしている会員から手伝いにきてくれと声をかけ



られ、仕事もできて、畜産のことも知ることができ良い経験となりました。

会員が集まった際は、農地の相談や行政への相談などアドバイスもいただき、また、他の農作物や畜産などの生産、販売の話も聞けて勉強になります。今回、会長になり会員の和を大事にしていきたいです。